

## 大規模氾濫時における避難に関する課題等について

各自治体とのヒアリングの結果、「大規模氾濫時における避難に関する課題等」をまとめると以下のとおりである。

### (1) 避難の基本的な考え方について

- 家屋倒壊の危険がある区域は“水平避難”とし、それ以外の箇所は、個々の家屋等の状況に応じて“垂直避難”又は“水平避難”を事前に想定しておくようにする必要がある。
- 名取川・阿武隈川の浸水想定範囲だけでなく、今後検討される宮城県管理河川の浸水想定範囲の結果も踏まえて検討する必要がある。

### (2) 避難方法について

- 最近では車による避難が常態化していることから、渋滞に巻き込まれないよう早めの避難を促したり、事前の渋滞緩和方法の検討や訓練をするなど、確実に避難できる方法や体制を整備する必要がある。

### (3) 避難場所について

- 大規模氾濫時に指定の避難所が浸水する場合、避難場所の変更もしくは現行避難所2階以上への避難が可能であるか確認する必要がある。
- 自らの市町内だけで想定される避難者を受け入れ可能な避難所が確保されているか確認する必要がある。

### (4) 隣接市町間の避難について

- 各自治体のヒアリングの結果、現時点において、「隣接市町間の避難」が重要であり必要との結果となった。
- ただし、他市町の避難所を利用するにあたり、避難所開設のタイミングや体制確保の基準の違いなど運用面における課題がある。

★以上のことから、引き続き取り組んでいく必要がある。

